

た。
沖縄総合事務局では、物流に
関する県内外の状況の変化を的
確に捉え、島嶼県沖縄の港湾が
物流面で現在抱えている問題点
を把握し、その解決に向けた方
策を検討して行くため「沖縄に
おける新たな物流構想基礎検討
委員会」を立ち上げ、議論して
きました。

この度今年度の取りまとめの
第三回委員会を開催し、沖縄の
物流面での課題と対応方策をま
とめました。

当委員会では、沖縄の物流を
「国際物流」・「国内物流」（沖
縄県外の本土との物流）・「離
島物流」（沖縄県内の島々の間
の物流）・「本島内物流」の4
つに分けて議論を行ってきまし
た。

沖縄総合事務局では、物流に
関する県内外の状況の変化を的
確に捉え、島嶼県沖縄の港湾が
物流面で現在抱えている問題点
を把握し、その解決に向けた方
策を検討して行くため「沖縄に
おける新たな物流構想基礎検討
委員会」を立ち上げ、議論して
きました。

離島物流では、宮古島・石垣
島を含む離島の廃棄物対策等が
問題点としてあげられ、本島内
物流では那覇港への貨物の一極
集中などの問題点が挙げられま
した。

これらの問題点を解決する方
策として、那覇港の国際中継港
湾の実現、本土への県産品の共
同出荷の促進、リサイクルポー
ト中城湾港の活用、本島内港湾
の適切な役割分担の実現等の方
策が提案されました。

Point

沖縄における新たな物流構想基礎検討委員会は、島嶼県沖縄において港湾が物流面で現在抱えている問題点を把握し、その解決方策を検討するための委員会です。10月19日（木）に第一回、12月15日（金）に第二回委員会を開催し、今年度の取りまとめの第三回委員会を2月5日（月）に開催しました。

「沖縄における新たな物流構想基礎検討委員会」（第三回委員会）開催

沖縄における新たな 物流構想の策定に向けて

今後、これら方策を実現する



那覇港の国際中継港湾実現



リサイクルポート中城湾港の活用

委員会メンバー

	氏名	所属	職名
委員長	池田 龍彦	横浜国立大学大学院	教授
委員	安里 カツ子	(株)リュウセキ	取締役副社長
委員	大嶺 秀宣	(社)沖縄県倉庫協会	会長
委員	幸喜徳子	沖縄石油ガス(株)	代表取締役専務
委員	牧志 泰三	(社)沖縄港運協会	会長
委員	湧川 善充	(株)メイクマン	代表取締役社長